

相談しやすい仕組みづくり

相談しやすい仕組みづくりの第1歩として、地域で高齢者を見守る民生委員・在宅福祉委員と関係機関の連携を進めるため、以下の取り組みを行いました。

民生委員とケアマネジャーの連携ガイドの作成

- 地域の支援者（民生委員）とケアマネジャーがつながるための連携ガイドを作成
- 民生委員とケアマネジャーへの意識調査を実施した結果、民生委員もケアマネジャーも担当者を知らない方法が分からない、個人情報をごくまで伝えていいのかわからないなど、連携の困りごとを抱えていることが判明
- 連携の困りごとの解決方法、お付き合いのマナーと心得等を記載した連携ガイドを作成し、民生委員とケアマネジャーに1人1冊配布中！



在宅福祉委員と地域包括支援センターの連携強化

- 在宅福祉委員会あてに地域包括支援センターのリーフレットを送付したところ、相談や出前講座の依頼が増加
- 函館市地域ケア全体会議への参加依頼をしたところ、多くの在宅福祉委員の方が参加

地域でやってみよう！！

必要な知識の普及

- 認知症サポーター養成講座を開催する
- 地域での見守り・火災予防のリーフレットを配布する

ご希望の方は、
地域包括ケア推進課（21-3016）まで
ご連絡ください



相談しやすい仕組みづくり

- 民生委員の会議にケアマネジャーに来てもらう
- 民生委員とケアマネジャーの合同勉強会を開催する

ご希望の方は、地域包括支援センター
までご連絡ください



共に支え合うまち函館を目指して

～認知症になっても自分らしく暮らせる地域づくり～

はじめに

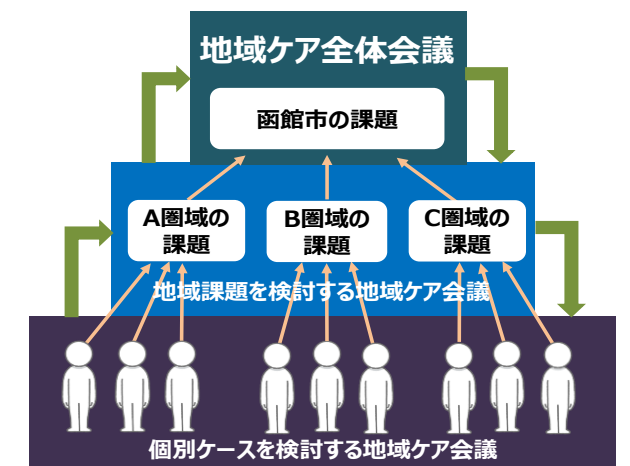
この報告書は、平成30年度函館市地域ケア全体会議にかかる、地域づくりの取組状況について、地域のみなさんや関係機関、行政、みんなで共有するために作成しています。

報告書の内容以外にも、地域ではさまざまな取組がなされていることと思います。**これからも取組の数を増やし、多くの方を巻き込んで、「共に支え合うまち函館」をみなさんと一緒に目指していきたいと思っています。**

函館市の地域ケア会議

函館市では、平成22年度（2010年度）より地域包括支援センターが、「個別ケースを検討する地域ケア会議」で、何らかの問題を抱えている高齢者の支援方法を検討するとともに、そこから地域に共通した課題を発見し、「地域課題を検討する地域ケア会議」でその解決方法を検討しています。

さらに、平成28年度（2016年度）からは、市と地域包括支援センターが協働し「地域ケア全体会議」を開催し、『認知症になっても住み慣れた地域で、その人らしい生活を営むための、住民、関係機関、行政の総合力による地域づくり』を目指しています。



地域づくりの2つの柱と取組方針

平成28年度函館市地域ケア全体会議において、以下の2つの柱と取組方針を地域のみなさん、関係機関、行政で共有し、それぞれの立場で取り組みを進めています。

【2つの柱】

- 認知症の人の理解者・協力者を増やす
- 認知症の人の火災リスクを減らす

【取組方針】

- (1) 必要な知識の普及
- (2) 相談しやすい仕組みづくり
- (3) 火災リスクに気づく人を増やす

3月9日（土）に函館市地域ケア全体会議を開催!!

～ 過去最高の**182名**が参加し、認知症になっても自分らしく暮らせるまちづくりについて考えました～

シンポジウム

『共に支え合うまち函館を目指して～つながりが育む支え合い～』

「共に支え合うまちづくり」を実践している地域・団体から、取り組み内容や効果について報告していただき、それぞれの地域でできることを考えました。

ふるる函館

多様性をもった地域づくり

- 地域との交流を継続して実践することで、以下の3つの地域づくりの基盤になることを目指している
- お互いに声をかけやすい関係性をつくる
- 何かあった際に即座に協力体制をとれる
- 地域ぐるみで子供を見守る環境を整える



北浜町

敬老会で地域の活性化 ～みんながつながるまちづくり～

- 高齢者が地域とつながれるよう、これまでにない敬老会を開催した
- 特徴は、町会だけで実施するのではなく、学校や施設など様々な機関を巻き込んだこと
- 様々な人と顔が見える関係になることで、安心して暮らせるまちとなると実感した



意見交換

『わたしと地域のつながり』

えんたくん（段ボールの円卓）を囲んで、様々な立場の人が、日頃の地域での活動について情報共有をしたり、今後のつながりの創出について意見交換をしました。

参加者の声

- つながりが大切。新しいところみを持つ、発信する大切さ。今一度心をひとつに頑張るぞー。
- 子ども、その親、高齢者。多世代がもっと楽しく交流し、支え合える地域になればいいな。
- 多世代交流、自分の地域にまだあるかも。探してみたい。
- 町会の方がとても一生懸命働きかけを行っていることが分かった。
- 自分の住んでいる地域・町会との関わりが薄いのは反省点。自分から参加できるようにしたい。
- まだまだ函館のまちは活性化できる鍵あり!!
- 高齢者だけを支えるんじゃなくて、皆が主体になって、皆で支え合うことが大事だと思った。



本通町

多世代共生～伝統行事「七夕まつり」をきっかけに

- 高齢者と若い世代の接点が少なく、高齢者の孤立や地域活動の担い手不足という問題の解決のために「七夕まつり」を活用
- 「七夕まつり」を地域と小学校・PTAで協働して実施することで、1年間を通してお互いに見守りや声掛けができる体制を作った
- 多世代交流は、町会や民生委員など地域福祉の担い手の理解の促進や若い世代が地域活動や高齢者に目を向ける環境づくりのひとつになる



令和元年度（2019年度）函館市地域ケア全体会議 2月8日（土）開催予定!!

今年度は、障がい者や児童の関係機関にも対象を広げ実施します。内容は、地域共生社会についての講演のほか、前回好評だったシンポジウムや“えんたくん”を活用した意見交換を実施予定です。

たくさんの方の参加をお待ちしております。

